

人文科学研究所研究叢書

47.『伝統と変革 一七世紀英国の詩泉をさぐる』

2010年3月10日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格7,500円（税別）

ISBN 978-4-8057-5335-4

はしがき	
第一部 一七世紀英詩とその影響	
第一章 CARPE DIEMの意味するもの ——一七世紀英詩の一面	土屋 繁子
第二章 涙のロザリオ ——クラシヨー「涙する人」におけるマグダラ像不在の逆説	安斎 恵子
第三章 「友情」の解禁 ——オリンダの挑戦	清水 ちか子
第四章 空虚と過剰 ——ロチェスターの修辞	兼武 道子
第五章 ミルトンから『ミルトン』へ ——ブレイクが先輩詩人から受け継いだ衣鉢	森松 健介
第六章 対立と調和 ——ジョン・デナムの『クーパーの丘』について	笹川 浩
第二部 一七世紀英国文化の展開	
第七章 メランコリーの水脈 ——シェイクスピアとミルトン	上坪 正徳
第八章 英国ルネサンス期ソネットにおける鏡のイメージ	石原 直美
第九章 ダンのロンドン	米谷 郁子
第一〇章 香料の世界と英国の詩 ——ミルトンを中心として	井上 美沙子
第一一章 庭の想い ——イーヴリンとカウリーを読む	秋山 嘉
第一二章 英国における「ティー」と「女性」の関係	大野 雅子
索引	